

# ホームページを一新！ オリジナルグッズを楽しくアピール



## POINT

EC機能も追加され  
商品の魅力が  
伝わりやすくなりました



### 有限会社 米内沢中央印刷

代表取締役

三浦 武 Miura Takeshi

〒010-0943

北秋田市米内沢字寺ノ下33-1

TEL.0186-72-3103

<https://yonatyu.com/>

## 受注業務から自社商品製作へ

北秋田市の「有限会社 米内沢中央印刷」では、創業から71年の長きにわたり、地元企業や行政などの印刷製本を手掛けてきたが、近年、これらの受注業務は著しく減少している。

そこで、8年ほど前から同社が実践しているのが、印刷技術を活かしたオリジナルグッズの製作だ。秋田の名所や名物をモチーフとした一筆箋に始まり、熱転写プリントによるハンカチなどを制作。さらに今年から、布地に直接印刷可能なプリンターを導入。1枚ずつの手作業ではあるが、小ロット対応を武器に、トートバッグ、Tシャツ、タオルなどを製作しており、秋田市の名物「うどんそば自動販売機」のグッズは、注文が途切れないほどの人気ぶりだ。

## 楽しいグッズは、楽しいページから

そしてこのたび、センターの専門家派遣事業を活用し、ホームページのリニューアルに取り組んだ。

新規ページは、数多あるサービスやアイテムが系統ごとに

整理され、グッズのオンラインストアも組み込むことでより機能的になり、さらに、トップページには代表の三浦武氏と妻の孝子さんが登場するなど、視覚的にも楽しいものに生まれ変わった。

「コロナ禍で塞ぎがちな世の中。手にした方が楽しくなるようなグッズ作りを心がけるとともに、サイトも面白いものに！と専門家からアドバイスをいただき、私たちも登場することになったんです」と語る孝子さん。これまで作られてきたユニークなグッズの数々は、主に孝子さんのアイデアによるものだ。ページリニューアル後、間も無くオーダーがあったことにも手応えを感じており、新規グッズの構想にも余念がない。

「グッズ製作と一般印刷とを並行していかなければならない大変さがありますが、それ以上にやりがいを感じています」と、三浦氏。目指すは、一般印刷をグッズ製作が上回る体制。近い将来、機器を追加導入し量産していけたらと、意気込んでいる。



布地に直接印刷できるプリンター。  
10分ほどで刷り上がる。



使用する秋田の名所や名物の写真は  
三浦夫婦が自ら撮影している。



三浦夫妻の登場するトップページからは、  
作り手の顔が見える安心感も。

▶活用事例 **専門家の派遣** 企業が抱える経営課題に対し、センターに登録されている各種分野の専門家を派遣し、診断・助言を行います。

【お問い合わせ】 総合相談課 TEL.018-860-5610